

2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年1月31日

上場会社名 インヴァスト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7338 URL https://www.inv.inc/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川路 猛
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役(管理部門担当) (氏名) 大村 祐一郎 (TEL) 03-6858-7105
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	3,749	14.4	3,667	15.3	666	574.1	946	2,110.4	610	2,702.9
2021年3月期第3四半期	3,278	—	3,181	—	98	—	42	—	21	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 871百万円(1,113.6%) 2021年3月期第3四半期 71百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	103.88	103.70
2021年3月期第3四半期	3.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	123,041	11,384	9.2
2021年3月期	112,132	10,726	9.6

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 11,375百万円 2021年3月期 10,721百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	—	—	19.00	19.00
2022年3月期	—	18.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	19.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は2020年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前年第2四半期実績はありません。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

当社グループの主力サービスである外国為替証拠金取引は、外国為替市場や株式市場等の市況、その他国内外の経済環境等に大きく左右される傾向にあり、業績予想が困難であるため、連結業績予想の開示は行っておりません。その代替として、営業収益等の営業指標を月次概況として開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年3月期3Q	5,876,331株	2021年3月期	5,876,331株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	34株	2021年3月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年3月期3Q	5,876,326株	2021年3月期3Q	5,876,331株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は利益の配分について、安定的な配当の継続を前提としつつ、業績に応じた適切な利益還元を行うことを基本方針とし、中間配当、期末配当の年2回の剰余金の配当を行ってまいります。

配当は、連結配当性向30%または連結純資産配当率 (DOE) 2% (年率) のいずれか高い方を目安とし、実施いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス変異株の世界的感染拡大により貿易及び流通が停滞したこと等により国内及びインバウンド消費が低迷したことから、経済活動の停滞や企業収益の鈍化が継続する結果となりました。

外国為替市場では、米国のインフレ懸念の高まりから金利先高観が強まったことや、相対的な米国景気の強さが支援材料となり、ドル円は堅調に推移しました。コロナの感染拡大により一時的にリスクオフの動きが強まり下押す場面もありましたが、2021年は当期の高値圏となる115円台で取引を終えました。

株式市場は、米中間の緊張激化や新型コロナウイルス感染拡大等の圧迫材料はあったものの、主要国の金融政策が依然として緩和的であることや、財政拡張等の支援材料もあり、世界的に株高が継続する結果となりました。

このような経済環境のもとで、インヴァスト証券を中心とする国内金融事業は、主力サービスである「トライオートFX/ETF」の機能追加やキャンペーン等のマーケティング施策を行いました。また、米国株式市場において、S&P500種指数が史上最高値を更新し続けたこと等により、ETFの取引が活況となったことから、純営業収益は23億50百万円（前年同四半期比105.0%）となり、セグメント利益は4億55百万円（同10,226.9%）となりました。

また、海外金融事業であるオーストラリアの子会社Invast Financial Services Pty Ltd.（以下「IFS」といいます）は、法人向けブローカレッジ事業の新規開拓に加え、リテールサービスも順調に拡大し、純営業収益は13億70百万円（前年同四半期比140.8%）となり、セグメント利益は2億33百万円（同248.9%）となりました。さらに、IFSは、欧州地域の営業活動の強化等を目的とし、キプロスでの子会社設立を決め、昨年7月に、24時間体制でのサービス提供を目的としたオペレーションセンターINVAST GLOBAL(CY)LTDを設立した後、10月にはINVAST FINANCIAL SERVICES(EU)LTDを設立し、同社の金融ライセンスの取得に向けて準備を行っております。

こうして、当社グループの当第3四半期連結累計期間の営業収益は37億49百万円（前年同四半期比114.4%）、純営業収益は36億67百万円（同115.3%）となりました。

販売費・一般管理費は全体で30億円（同97.3%）となり、純営業収益から販売費・一般管理費を差し引いた営業利益は6億66百万円（同674.1%）となりました。

これに、子会社が出資しているファンドの運用成績等を反映した匿名組合投資利益2億93百万円を営業外収益として計上したことにより、経常利益は9億46百万円（同2,210.4%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億10百万円（同2,802.9%）となりました。

主な収益・費用等の状況は次のとおりであります。

①受入手数料

当第3四半期連結累計期間の受入手数料の合計は6億62百万円（前年同四半期比110.9%）となりました。

内訳は以下のとおりであります。

- ・取引所為替証拠金取引に係る受入手数料 1億64百万円（同87.8%）
- ・その他の受入手数料 4億98百万円（同126.4%）

②トレーディング損益

当第3四半期連結累計期間におけるトレーディング損益は、26億39百万円（前年同四半期比117.5%）となりました。これは店頭FX/CFD取引によるものであります。

③金融収支

当第3四半期連結累計期間における金融収益は、1億8百万円（前年同四半期比89.3%）となりました。

一方、金融費用は82百万円（前年同四半期比85.2%）となり、これを差し引いた金融収支は25百万円（同105.4%）となりました。

④販売費・一般管理費

当第3四半期連結累計期間における販売費・一般管理費は、30億円（前年同四半期比97.3%）となりました。
 主な内訳は以下のとおりであります。

・取引関係費	6億87百万円（同86.2%）
・人件費	11億87百万円（同117.7%）
・不動産関係費	7億30百万円（同80.8%）
・事務費	68百万円（同273.6%）
・減価償却費	1億11百万円（同72.0%）
・租税公課	1億7百万円（同87.3%）
・その他	1億6百万円（同157.4%）

⑤営業外収益

当第3四半期連結累計期間においては2億94百万円の営業外収益を計上しており、その内訳は以下のとおりであります。

・匿名組合投資利益	2億93百万円
・その他	1百万円

⑥営業外費用

当第3四半期連結累計期間においては15百万円の営業外費用を計上しており、その内訳は以下のとおりであります。

・為替差損	14百万円
・その他	0百万円

⑦特別利益

当第3四半期連結累計期間においては0百万円の特別利益を計上しており、その内訳は以下のとおりであります。

・金融商品取引責任準備金戻入	0百万円
・新株予約権戻入益	0百万円

⑧特別損失

当第3四半期連結累計期間においては8百万円の特別損失を計上しており、その内訳は以下のとおりであります。

・投資有価証券評価損	8百万円
------------	------

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して109億8百万円増加し1,230億41百万円となりました。流動資産は、104億15百万円増加し1,210億71百万円となりました。

流動資産の主な増加項目は、預託金の増加82億68百万円、外為取引未収入金の増加4億92百万円、短期差入保証金の増加10億94百万円、短期貸付金の増加6億48百万円であり、一方、主な減少項目は、現金・預金の減少40百万円、その他の減少45百万円であります。

また、固定資産は、前連結会計年度末と比較して4億93百万円増加し19億69百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,116億57百万円となり、前連結会計年度末と比較して102億50百万円増加しました。流動負債は、100億76百万円増加し1,113億74百万円となりました。

流動負債の主な増加項目は、受入保証金の増加88億85百万円、短期借入金の増加31億円であり、主な減少項目は、外為取引未払金の減少20億17百万円、前受金の減少2億59百万円であります。

また、固定負債は、前連結会計年度末に比べ1億74百万円増加し2億75百万円となりました。

特別法上の準備金は、7百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は113億84百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億58百万円増加しました。主な増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益6億10百万円の計上であり、主な減少要因は配当金の支払いによる2億17百万円であります。

この結果、自己資本比率は9.2%（前連結会計年度末は9.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの主力サービスである外国為替証拠金取引は、外国為替市場や株式市場等の市況、その他国内外の経済環境等に大きく左右される傾向にあり業績予想が困難であるため、業績予想の開示は行っておりません。

その代替として、営業収益等の営業指標を月次概況として開示しております。

また、新型コロナウイルスの感染拡大防止に対応するため、従業員の在宅勤務（テレワークの活用）、時差出勤等を適用しておりますが、事業活動に大きな影響は生じておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	6,943	6,902
預託金	31,678	39,946
顧客分別金信託	8,950	17,300
顧客区分管理信託	22,432	22,501
その他の預託金	295	145
短期差入保証金	52,955	54,050
外為取引未収入金	17,608	18,100
短期貸付金	1,119	1,767
その他	354	309
貸倒引当金	△3	△5
流動資産計	110,656	121,071
固定資産		
有形固定資産	137	286
無形固定資産	448	491
投資その他の資産	890	1,191
投資有価証券	119	112
出資金	514	777
繰延税金資産	38	60
その他	218	242
貸倒引当金	△0	△0
固定資産計	1,476	1,969
資産合計	112,132	123,041
負債の部		
流動負債		
受入保証金	83,496	92,382
短期借入金	1,800	4,900
前受金	259	0
外為取引未払金	15,210	13,193
未払法人税等	54	363
賞与引当金	37	21
役員賞与引当金	19	25
その他	420	488
流動負債計	101,297	111,374
固定負債		
繰延税金負債	86	191
その他	13	83
固定負債計	100	275
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	7	7
特別法上の準備金計	7	7
負債合計	101,406	111,657

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500	500
資本剰余金	7,646	7,646
利益剰余金	2,422	2,815
株主資本合計	10,569	10,962
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	235	481
為替換算調整勘定	△83	△68
その他の包括利益累計額合計	152	413
新株予約権	4	8
純資産合計	10,726	11,384
負債・純資産合計	112,132	123,041

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
営業収益		
受入手数料	597	662
トレーディング損益	2,247	2,639
金融収益	121	108
その他の営業収益	313	339
営業収益計	3,278	3,749
金融費用	96	82
純営業収益	3,181	3,667
販売費・一般管理費		
取引関係費	797	687
人件費	1,009	1,187
不動産関係費	904	730
事務費	25	68
減価償却費	155	111
租税公課	123	107
その他	67	106
販売費・一般管理費計	3,082	3,000
営業利益	98	666
営業外収益		
匿名組合投資利益	—	293
貸倒引当金戻入額	1	—
未払配当金除斥益	0	—
その他	0	1
営業外収益計	2	294
営業外費用		
為替差損	—	14
匿名組合投資損失	33	—
事業撤退損	9	—
その他	15	0
営業外費用計	58	15
経常利益	42	946
特別利益		
金融商品取引責任準備金戻入	0	0
新株予約権戻入益	0	0
特別利益計	0	0
特別損失		
投資有価証券評価損	—	8
特別損失計	—	8
税金等調整前四半期純利益	43	938
法人税、住民税及び事業税	30	356
法人税等調整額	△8	△29
法人税等合計	21	327
四半期純利益	21	610
親会社株主に帰属する四半期純利益	21	610

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	21	610
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59	245
為替換算調整勘定	△9	14
その他の包括利益合計	49	260
四半期包括利益	71	871
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	71	871

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取り扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内金融事業	海外金融事業	合計		
純営業収益	2,238	973	3,211	△29	3,181
セグメント利益	4	93	98	0	98

(注) 1. 「調整額」は次のとおりであります。

(1) 純営業収益の調整額△29百万円はセグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額0百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内金融事業	海外金融事業	合計		
純営業収益					
外部顧客への純営業収益	2,329	1,337	3,667	—	3,667
顧客との契約から生じる 収益	549	452	1,001	—	1,001
受入手数料	342	319	662	—	662
その他の営業収益(外 部顧客)	207	132	339	—	339
トレーディング損益等の 金融商品収益(注) 1	1,823	924	2,747	—	2,747
その他(注) 1	△ 43	△ 39	△ 82	—	△ 82
セグメント間の内部純営業 収益又は振替高	20	32	53	△ 53	—
計	2,350	1,370	3,720	△ 53	3,667
セグメント利益	455	233	688	△ 21	666

(注) 1. トレーディング損益等の金融商品収益の内訳は四半期連結損益計算書のトレーディング損益及び金融収益であります。その他の内訳は金融費用であります。

2. 「調整額」は次のとおりであります。

(1) 純営業収益の調整額△53百万円はセグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額△21百万円はセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。